

# いしずえ

発行 茨城県民間保育協議会青年部

45号





# 卒業報告

青年部を卒業して

## 『感謝』

約二十三年間に渡る青年部活動も定年制に則り終わりを迎えました。入部してすぐにそれぞれに様々な思想を持たれる数多くの先輩方に出逢い、決して園では学べない公私共に沢山の事柄を学ばせていただきました。

さて、私の中での青年部とは茨城県民間保育協議会青年部、そしてここへ入部して半年足らずで入部した日本保育協会青年部となります。具体的な内容等は長い年月を経たものとなるので当然ここで語り尽くすことは出来ません。なので、今後皆さんと話す機会がある時に伝えてゆければと思います。

卒業にあたり青年部に入部をした当時の今でも忘れることができないエピソードを一つだけ紹介しておきます。それは、前出の日本保育協会青年部が主催する、『第二十回全国青年保育者会議大阪大会』へ参加した時の出来事。某現筑西市に住まわれる先輩お二人から、「バイクで行こうよ!」の一言で始まったバイク二台、車一台計三台での会場まで十一時間かけて向かった珍道中。最後に、皆様におかれましては本業である各園における立場と同様に、二十代、三十代、四十代、そしてそれぞれの役職において“今やらなければならない事”が必ず有ります。その見極めをしっかりとさせていただきながら、今後の青年部活動に活かしていただけたら幸いに思います。主役は何があっても目の前にいる『こども達』。この事を胸に部を盛り上げていって下さい。



北浦こども園  
藤崎 貴英

## 『青年部の卒業を迎えて』

この度、大変お世話になりました青年部卒業となり、青年部で関わりを持ちました皆様には、大変お世話になりました。また、十一年間の在籍中には、数多くの経験と保育に携わる方々に出会い日々貴重な学びをいただきました。特に平成二十五年度に(公社)全私保連青年会議の第三十三回全国大会を茨城で行うことが出来たことです。当時も五十名の部員の皆様のご協力のもと、この団体では、初めての全国大会を茨城で行うことで、前々年度から実行委員会を立ち上げ、予算化し、準備を進め、前年度の熊本大会には、多くの先生方が次期開催地のPRに参加してくれました。また、大会後の次の開催名古屋大会においても、お礼の参加をいただきまして大変、感謝しております。ありがとうございました。

2日間の大会では、全国より400名を超える参加者を迎え盛大に行うことが出来たことは、青年部の先生方に多大なるご尽力をいただいたからこそ実現でき、成功に終えることが出来ました。とても、良い思い出と貴重な経験を皆さんと共に学び得ることが出来、感謝申し上げます。

そして、その経験を活かし、次年度の二十六年度には、『就活応援セミナー』を立ち上げ、年度ごとに見直しを進め、その年度のニーズに合わせて進めてきました。この事業も青年部の皆さんからの提案、立案、実行と活気のある展開を現時点でも引き続き行っているのは、とても光栄に思われます。

これまでの良き出来事は、書ききれませんが、今の新時代の青年部の先生方と何かに向かってもっと一緒に活動をしたかったです。また、もっと保育を語り、より良い保育環境を求め、子ども達の為に今、何を求め、何をすべきかなど、若い先生方とたくさん活動を共に過ごしたかったです。

これから青年部の先生方には、更なる事業の発展とアイデアを持ち寄り、共に語らい学び、『青年部らしい』事業を展開し、部員同士、交流を深め、より良い保育環境を整えられるように研鑽し、活発な青年部活動を進めていってほしいと思います。これまで多くの先生方にお世話になり、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



国分台ふたば保育園  
柳澤 克彦

小山保育園 逆井康志先生、石田保育園 新井順平先生も卒業を迎えました。

永らくの青年部活動、お疲れさまでした。



# 新入部員紹介



とりのす保育園  
藤枝高広

今年度より青年部に加入させていただきました藤枝高広と申します。

銚田市にありますとりのす保育園で園長をしております。園長職に就いて日が浅く、園の運営など勉強不足な部分が多々ありますが、少しでも青年部の活動や講習会に参加して日進月歩の保育業界を知り、これからの保育・幼児教育の役割や在り方、諸先輩方の経験やアドバイスなどを聞かせていただき、自分の狭い保育の視野を広げ、より良い保育ができるようにたくさん勉強をしたいと思っています。

最後になりますが、少しでもお役に立てるよう努力していきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



大沢保育園  
宮田和英

皆様初めまして。令和元年度より茨城県民間保育協議会青年部に入部いたしました、社会福祉法人 松英会 大沢保育園の宮田和英と申します。

私は茨城県内で保育士資格を取得後、私立保育園での勤務を経て、株式会社の保育部門の所属として、東京都認証保育所や民間委託された区立園に9年間勤めてまいりました。その中でサービス業としての保育や区立園の現在に至るまでの方針や考え方など、様々な知識と経験を積むことができました。

このたび、地元である茨城県の私立保育所に勤務し、青年部にも所属させていただきましたので、私がこれまで培ってきた経験がこれからの青年部の活動に少しでもお役にたて、茨城県の各保育所が地域の活性化と共に盛り上がっていくことを願っております。

諸先輩方に比べ若輩な私ですので、皆様にはご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



あずみの森保育園  
五町 香世子

この度、茨城県民間保育協議会青年部に入会させていただきました社会福祉法人悠心会 あずみの森保育園の五町と申します。

あずみの保育園はひたちなか市にて認可外保育園として9年間運営してまいりましたが、社会福祉法人となり平成30年4月より認可を受け、新体制でスタートしたばかりの保育園です。私自身も平成30年度より副園長となったばかりです。

まだまだ知識も経験も浅く皆様方にはご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、今回の青年部への入会をきっかけにいろいろな活動に積極的に参加し、まずはたくさんの保育園の諸先輩方と親睦を深めていきたいと思っています。その中で自身のネットワークを広げ、常に学ぶ姿勢を大切に 一人の人間としても幅を広げ 成長し、少しずつでも青年部員としてお役に立つことができればと考えております。

なにぶん未熟で至らぬ点も多く、諸先輩方皆様の御指導を仰ぐばかりだと存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



# 突撃!! 保育園訪問その2



瓜連保育園 (那珂市)

## 丈夫な心は、丈夫な体に宿る。

### 瓜連保育園の概要

瓜連保育園は『常福寺』という寺の境内にあります。旧瓜連町唯一の保育園として、昭和46年に定員60名で開園しました。もうすぐ50周年を迎えます。古い歴史をもつお寺では、昨年宝物の新発見などがあり、テレビや全国紙などメディアに幾度も取り上げられました。平成17年に合併して那珂市となったこと、それに伴う保育需要の高まりもあって現在定員は165名となりました。今の園舎は平成18年に全面改築、29年に増築しています。子育て支援センター、学童は別棟で実施しています。くまでも寺がメインというコンセプトのもと、参道正面から保育園舎が見えないように、また瓦屋根にすることで寺と違和感が出ないような設計になっています。さらに園舎内部にも木をふんだんに使用して、周囲の緑との調和を図っています。

仏教保育の三綱領を基礎として、たくさん身体を動かしたくさん遊べる環境作りを行っています。園舎奥には通称『裏山』があり、園長が下草刈りから枝の伐採まですることで、子ども達がケガ無く思いっきり活動できる園庭よりも広い遊び場になっています。子ども達は花まつりや涅槃会などの仏教行事や毎週行う『お勤め』でたびたびお寺の本堂を訪れ、園長と一緒に参りをしたりお話を聞いたりします。子ども達は正座をして張り詰めた空気を感じ、命あるもの・見えないものへの畏怖の念を育てることを目的としています。一方で遊ぶ時は思いっきり遊ぶ!これは職員同士でもしっかり共有できるよう心がけています。子ども達自ら、したいことをみつけられる、失敗を恐れず創意工夫できる、一見簡単に見える事ですがどうも違うらしい。では、そのように成長するには何が必要なのか。そこをいつも意識して保育に取り組んでいます。その実現のための環境作りは、一切手抜きなしで猛然と取り組んでいるところです。

Nursery School

瓜連保育園 小笠原聖華



広々とした遊戯室は、上部ロフト部分のギャラリーも備えられています。中庭にはシンボルツリーも植えられています。ごっこ遊びのスペースもあり、遊び心があふれていますね。



各クラスは遊びのコーナーが充実し、子どもたちが思い思いに遊ぶことができます。食事は少人数ずつ取ることのできる落ち着いた食卓があります。大きいクラスではロフトスペースもあり、静かにくつろげるコーナーにもなっています。



常福寺本堂の写真

1338年(南北朝時代)に開山。園長は74代目の住職です。



祭りの写真

毎年旧暦の9月26日に行われる祭り。昨年600回目の記念行事の一環で行われた舞楽の様子です。

## 訪問を終えて

瓜連保育園での見学取材、編集会議を終える頃には、すっかり日も落ちて、保育園はちょうどお迎えの時間。お迎えに来てくれたパパやママと手を繋いだり、抱っこしてもらった子どもたちは、今日遊んだおもちゃや給食のことを、パパやママに早く教えたくて、手を引いては指差し、キラキラした目でお話していた姿が印象的でした。そんな子どもたちは、初めて会った私たちにも大きな声であいさつ、人懐こくて、自分で作った玩具や好きなあそび、軒下のツバメの巣など…あれこれと教えてくれました。保育室も子どもたちがわくわくするようなロフトがあったり、コーナーあそびが充実、異年齢での交流が自然とできていて、子どもたちが主体となって「遊びこんで」いる様子が伝わってきて、私たちも持ち帰って明日からの保育に活かせるヒントがたくさん見つかる保育園でした。

小笠原園長先生はじめ、瓜連保育園の先生方、お忙しいところ、保育園取材を快く受け入れてくださりありがとうございました。

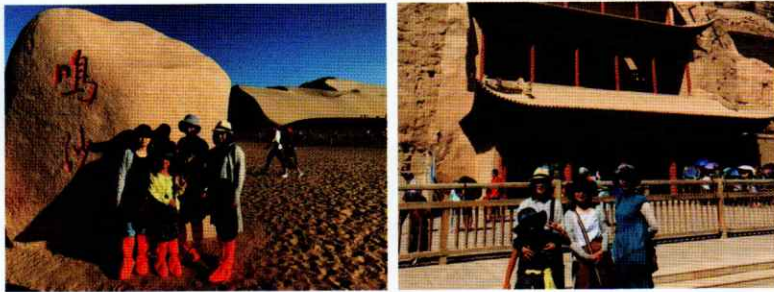
# 青年部員趣味紹介

私の

## 仲間たちと 河野明子 つばさ保育園

これと言って音楽やスポーツの趣味はありませんが、時間を見つけては旅行に出かけます。11歳の娘との二人旅では、2歳くらいから東京を手始めに少しずつ距離を伸ばし京都や北海道、一番遠くはニュージーランドまで行きました。小さい頃は途中で寝てしまい、荷物と娘を背負って歩いたのも今となっては懐かしい思い出です。JRが子ども料金となるのも6年生が最後なので、思春期入り口の娘と思い出作りが出来ればと考えています。

もう一つの旅は、青年部で親しくなった女子仲間と弾丸旅行に行くことです。忙しいそれぞれの予定をやり繰りし、少しでも時間が合えば旅行へ。石川、青森、山口、5日間でスペインのバルセロナへ行ったこともあります。同業だからこそ分かり合える仲間たちと、お酒を飲みながら仕事や家族の話をするのも楽しみの一つです。こんなふうに、共通の趣味や話題のある仲間と出会えるのも青年部の魅力ではないでしょうか？

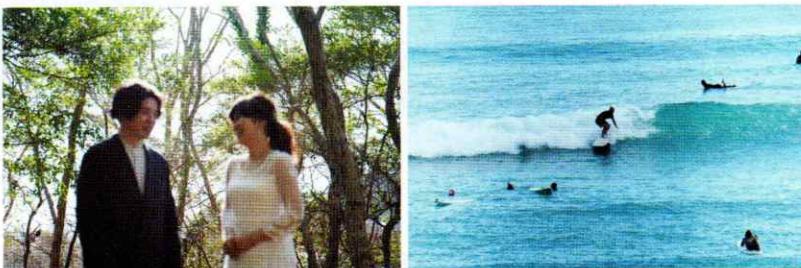


青年部の先生たちと敦煌へ行ってきたそうです。

## 仏さまからの贈り物 中西良環 大野めぐみ保育園

私の趣味はサーフィンに筆頭にバイク・車・筋トレ・カメラ・釣り等興味を持ったものは何でも挑戦しています。特にサーフィンをしているときは、自然の素晴らしさや恐ろしさ、偉大さを感じられるので大好きです。海の上に浮かんでいるときはデジタルを身につけていなく色々なことから解放されるいい時間となっています。

波は風によって起きます。遠くで発生した風であっても海全体に行き渡ります。日本で風が吹いていなくても、他のどこかで風が吹いていれば波は押し寄せて来るというわけです。何千キロ何万キロ先からの旅をして来た波が最後にはじける瞬間をボードに乗り楽しめます。海と一体になる最高の瞬間です。まさに仏様からの贈り物です。その最高の瞬間を感じられることに感謝し、仕事も趣味も人生も楽しみたいと思います。



中西先生撮影の  
職員のウェディングフォト。

海と一体となった瞬間。(写真中央)

# 青年部活動報告

## 2019年度 青年部アカデミー報告 中島崇子 認定こども園いずみ保育園

### 「筑波山江戸屋 取締役 吉岡美奈氏を迎えて」

2019年11月28日に筑波山青木屋にて研修会をしました。1部は「筑波山江戸屋」旅館を経営し、390年という歴史をつないできた経験。そして、働く職員のために、保育士を目指し、保育所を立ち上げたいという夢を持つ素敵な女性でした。筑波山江戸屋はとてもおもむきがあり、そして落ち着いた雰囲気、働く人達が笑顔の素敵な旅館でした。筑波山という古い歴史があり、その隣の旅館を守り続ける努力は素晴らしいことでした。私たちも同じで、園を守り続ける努力をしていかなければなりません。職業は違いますが、見つめる先はとても近い物を感じ、私自身も今後の目標として日々つなげて行ければ良いと、エールをもらえた研修でした。

### 「経営の質と保育の質 松山圭一郎氏を迎えて」

2部の研修では青年部の仲間である、松山先生に講師をお願いしました。

同法人で5つの保育園を運営し、働く保育者と園に通う子どもたちをどう守るのか。5つの保育園をどのようにして連携をとっているのか。職員の確保と定着。参加者みんなが、悩んでいる項目だったと思います。ぜひ2回目もお聞きしたいと願っています。

1日研修会に参加し、忙しい日々の中でほっと一息ついた時間と、自分をしっかり見つめ、前進していくのみと高めた時間と。今後も皆様と一緒に研修会を通して学びあえたらと思います。

## 青年部アカデミー総括 石川一幸 あおぞら保育園

2019年11月28日に青年部アカデミーの一環として、筑波山神社正式参拝を企画担当させていただきました。正式参拝後は宮司さんより筑波山と筑波山神社についての説明を拝聴しました。普段、園児達と筑波山登山に来ていても、言い伝えや成り立ちには触れることは少なく、私自身もとても良い機会となりました。筑波山は山容が二峰相並ぶため、自然に男女二柱の祖神が各山頂に祀られるようになったそうです。筑波山神社内には御神体なく山頂に祀られている両神へ繋がる中継地点となっており、ここで祈る事で筑波山の両神に繋がるとの説明を受けました。その後に見た筑波山を背後に抱える神社の壮大さが特に印象に残っています。また、研修会場の江戸屋にて忘年会も担当させていただき、時代の流れを取り入れ「eスポーツ」をチーム対抗で行いました。お酒を酌み交わしながら、童心に返りゲームで盛り上がり楽しい忘年会となりました。

翌日の29日には、「にじいろ保育園 見学会」を企画させていただきました。新しい保育指針の実現に向けて試行錯誤しながら奮闘している先生達の姿を見ることができました。にじいろ保育園の園長からは、見学に来てくれる先生達がいることで現場も活気付くし、「素敵ですね」と声を掛けていただくと、保育にも自信が持てます。と感謝の言葉もいただきました。

お忙しい時期にも関わらずご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



参拝した筑波山神社



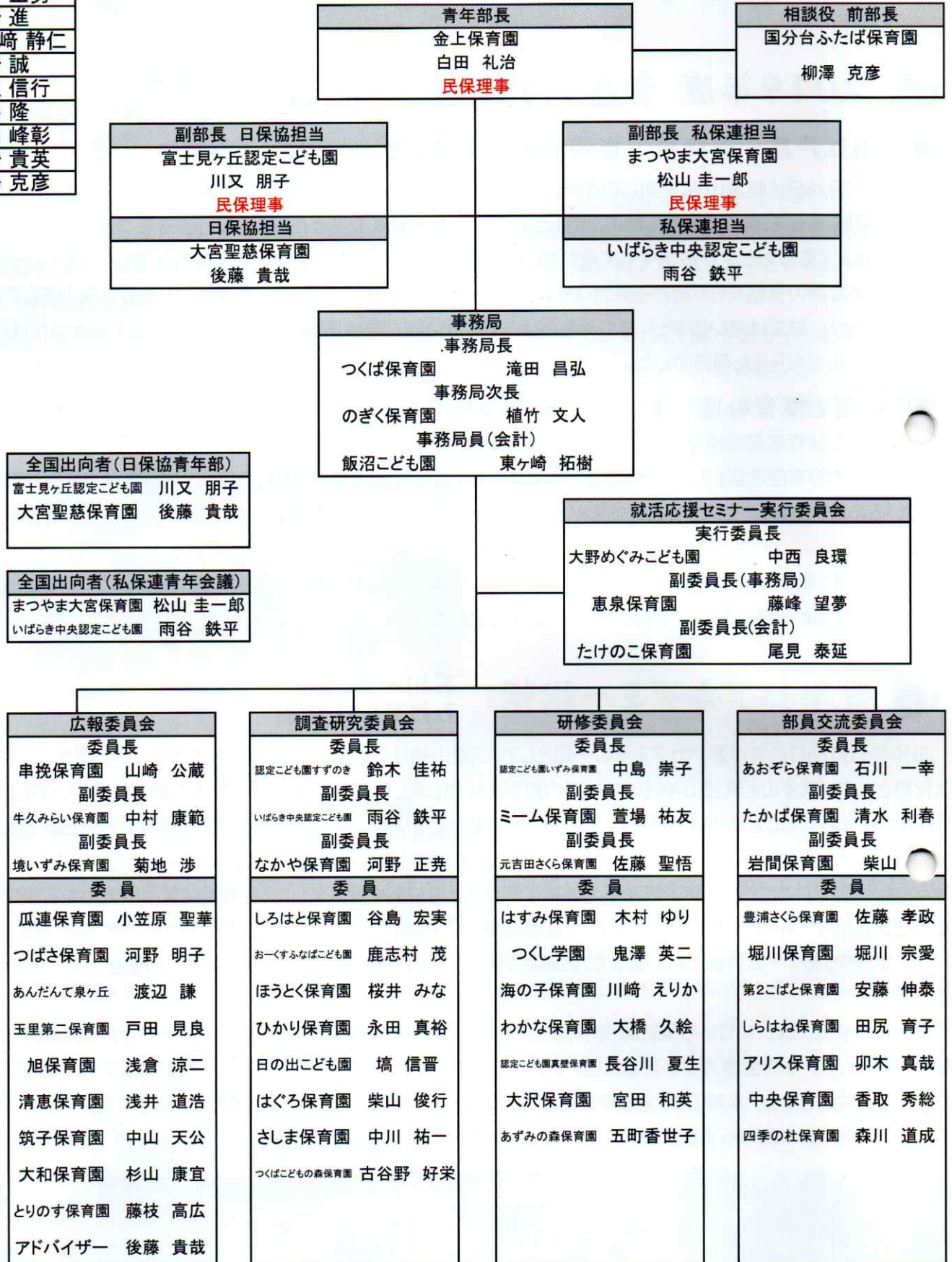
講師に松山先生を迎えて



吉岡氏の講演

# 令和1年度 茨城県民間保育協議会青年部 組織図

歴代青年部長	
初代	小林 正男
2代目	山崎 進
3代目	東ヶ崎 静仁
4代目	川崎 誠
5代目	渡辺 信行
6代目	大谷 隆
7代目	細田 峰彰
8代目	藤崎 貴英
9代目	柳澤 克彦



- ◇ 広報委員会(各種情報の取材と青年部広報誌「礎」の発行 他)
- ◇ 調査研究委員会(施設経営or運営に係わる各種調査及び研究 他)
- ◇ 研修委員会(視察や勉強会等の研修、企画及び運営 他)
- ◇ 部員交流委員会(部員同士の交流を最大の目的とする企画・運営、他)